

# 市議会だより



本城川かわまつり

【シリーズ 第1回】  
**垂水市の史跡散策**

今年、明治維新一五〇周年という節目の年、NHK大河ドラマ「西郷どん」も放映中であり、全国的にも鹿児島県が注目されています。この機会に本市の歴史を振り返る意味で、いろいろな文化財等について紹介するために特集を組んでみました。第1回目は、やはりこれでしょう。

**西郷どんのゆかりの地**

西郷さんは、新政府成立以降も、明治四年（一八七一）年に薩藩置県を行うなど明治政府で重要な役割を果たしていました。明治六年（一八七三）朝鮮への使節を巡る問題で政変に敗れて鹿児島に戻りました。その後、私学校を設立し、若者の教育などに尽力するために各地で狩をしながら人材発掘に努めていました。その最中、新城大郡に上田親豊という方がいらつしやいましたが、その妻マスの弟（兄とする資料もある）は市之助さんという人で、この人は戊辰の役の際、西郷隆盛に従って出征した経歴もあります。西郷隆

盛が狩りをする際、市之助さんは伴人を良く努めたと言われています。このような縁で、西郷さんは新城に狩に来られるときは、上田さん宅を定宿としていました。

新城には西郷さんの遺品も多く伝えられていましたが、第二次世界大戦の際、空襲を受け焼失してしまつたとのこと。

しかし、逸話は数多く伝えられており、西郷さんがそばを好んだとか、狩だけでなくイカ引きも楽しんだとか、子女の教育の必要性についていろいろな所で説いていたとかの話が伝えられています。いずれの話からも、西郷さんが新城の人々に細やかな遣いを絶やさず、真摯に向き合っていたことが伝わり、西郷さんの人となりが見えます。



上田家には説明板が設置されています。(新城402番地)

**市議会へ行こう**

**平成30年 第2回定例会会期日程（予定）**

- ◎ 6月1日（金） 本会議
- ◎ 6月11日（月） 一般質問
- ◎ 6月12日（火） 一般質問
- ◎ 6月14日（木） 産業厚生委員会
- ◎ 6月15日（金） 総務文教委員会
- ◎ 6月22日（金） 本会議

※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。

※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。

※6月1日、6月22日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。

※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

■垂水市議会事務局  
Tel 3210132 (FAX兼用)  
メールアドレス  
t\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp

**編集後記**

来年4月30日に天皇陛下が退位され、翌5月1日に皇太子さまが新たに天皇に即位されることが決まりました。「平成の時代」も残り1年です。新しい元号について様々な元号が予想されていますが、おそらく秋までには、発表されるのではないかと思います。どのような元号になるのか今から楽しみでもあります。

また垂水市では、今年市制施行60周年の記念すべき年ということで「関連なんでも鑑定回」や「NHKのど自慢」などのイベントも計画されています。現在、出演される市民の皆様を募集していますので、平成の終わりの年に人生の想い出として参加されてみてはいかがでしょうか。さて「議会だより」ですが、今回から「議員の主な活動」と「特集・史跡散策」の頁を増やしました。「議員の主な活動」は、議員として定例会（年4回）のほかにも、研修会や行事に参加していることをご理解していただくためです。また特集は、議会の情報誌をもっと市民の方々に身近に感じていただくためです。今後より良い広報誌の発行に努めて参りますのでご協力をよろしくお願ひします。

**目次**

【平成30年第1回定例会】

- 議決事項について..... 2
- 常任委員会審議結果..... 5
- 総括・一般質問..... 7
- 議案等の審議結果..... 13
- 採決結果・議員の主な活動..... 15
- 編集後記..... 16

発行／垂水市議会  
編集／垂水市議会だより編集委員会  
鹿児島県垂水市上町114番地  
Tel 0994-32-1111 (358)  
メールアドレス  
t\_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



議決が分かれた採決結果について (○:賛成、×:反対)

	村山芳秀	梅木勇	堀内貴志	川越信男	感王寺耕造	堀添國尚	池之上誠	持留良一	池山節夫	北方貞明	森正勝	川尻達志	篠原静則	川畑三郎
議案第15号 平成29年度垂水市一般会計補正予算(第6号)案	×	○	○	○	○	○	×	○	/	×	○	×	×	○
議案第22号 平成30年度垂水市一般会計予算案	×	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○
議案第26号 平成30年度垂水市介護保険特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○

※) 記載した議案以外の議案については、全会一致で可決されています。

# で雇用と地域再生へ



垂水市庁舎

平成30年第1回定例会は、2月16日から3月16日まで29日の会期で開かれました。今定例会では、市長の施政方針の表明があり、その後、当初予算11件、補正予算7件、条例議案16件を審査しました。

また、総括質疑・一般質問には11名の議員が登壇し、執行部に質疑・質問を行いました。

一般会計当初予算12.1億1,800万円(対前年度比3.5%増)は、「南の拠点整備事業」、「新庁舎建設関連事業」、「定住促進事業」等、観光振興や雇用・定住対策など地域再生に特に力を注いだ予算が計上されています。本会議における採決では、賛成11名、反対2名で可決されました。

定例会のあらまし

## ～ 議員の主な活動 ～ 平成30年1月～5月分

- 1月16日(火) 鹿児島市議会議員研修会(鹿児島市民文化ホール)
- 1月23日(火) 大隅地域市町議会議員協議会役員会(鹿屋市)
- 1月26日(金) 学校給食試食会(垂水市給食センター)
- 1月29日(月) ICT化と「開かれた議会」研修会(鹿児島市)
- 1月30日(火) 議会報告会(垂水市商工会)
- 2月5日(月) 議会だより編集委員会(2月発行～最終)
- 2月8日(木) 総務文教委員会行政視察(出水市役所)
- 2月13日(火) 議会報告会(垂水市漁業協同組合)
- 2月16日(金)～3月16日(金) 平成30年第1回定例会開会



総務文教委員会行政視察



議会報告会(垂水市商工会)

- 4月18日(水) 高峠つつじ開き
- 4月25日(水) 議会だより編集委員会(5月発行分～第1回)
- 4月26日(木)～27日(金) 鹿児島県監査委員会定例総会・研修会(薩摩川内市)
- 5月1日(火) 議会だより編集委員会(5月発行分～第2回)
- 5月8日(火) 議会だより編集委員会(5月発行分～第3回)
- 5月16日(水)～18日(金) 総務文教委員会行政視察(兵庫県)

一般会計の農林水産業費が減額になる一方、  
総務費、教育費が増額。  
過去最高額の当初予算に！

### 一般会計予算について

～ 主な事業と審査内容について ～

**歳入** 新事業では学校関係の安全対策面での工事費や設備費等が2億2,000万円、健康対策事業や子育て支援事業に1,000万円など住民生活に密着した予算になっています。

**問** マリンパークたるみずの運営設備事業の運用は。

**答** 安全体制を整え、出来るだけ早く運用できるようにしていきたい。

**問** 移住定住の促進事業の課題は。

**答** 事業によっては課題もあり、実態を把握して制度の改正を検討したい。

**問** 新庁舎建設事業のパブリックコメントは。

**答** 市民から34名の方から70件近い意見が寄せられた。建設基本計画で対応していきたい。

**歳入** 歳入では、市税や地方交付税の厳しさが増し、今後においても、依存財源に頼らざるを得ない現状が予想されます。自主財源ではふるさと応援寄付金が大きく貢献している。

**問** 固定資産税が減額になっているが、市税の減の主な理由は、地価の下落によるものである。

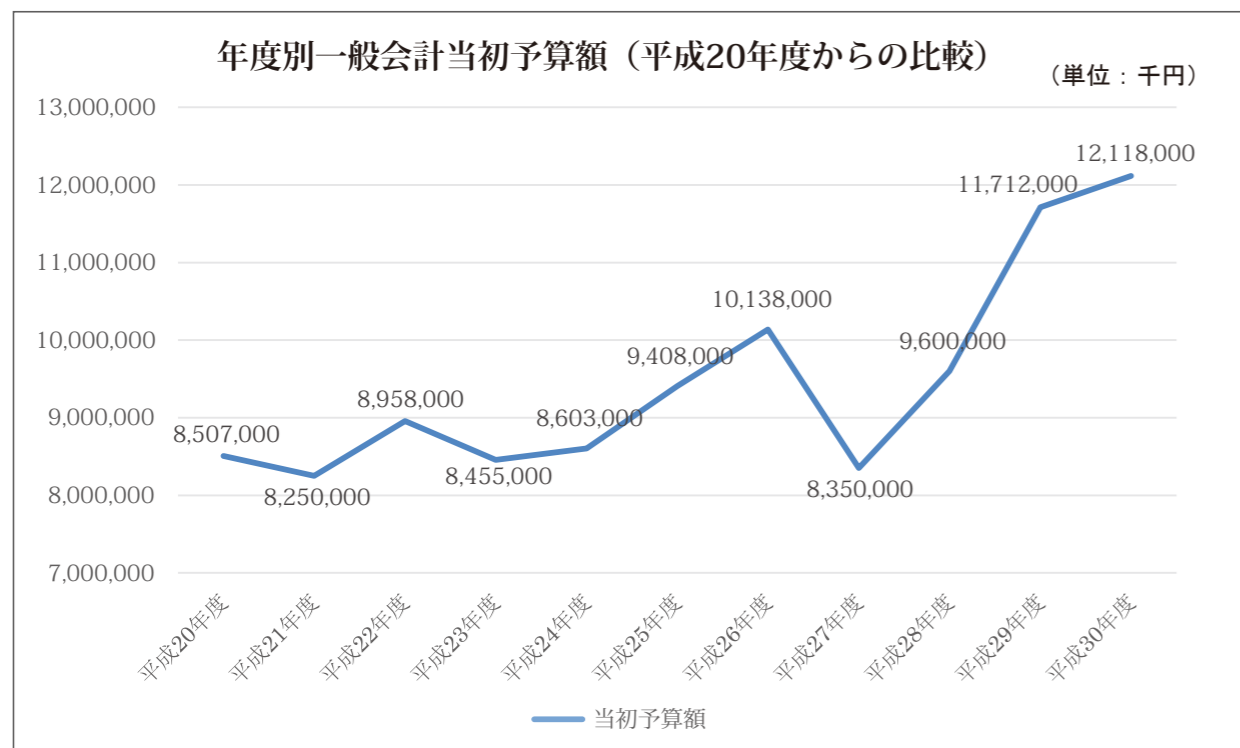
平成30年第1回定例会に提案された件名と結果一覧

平成30年度  
一般会計  
原案可決

# 観光や産業振興

## 平成30年度 各会計予算額について

会計名	平成30年度当初予算額 (千円)	平成29年度との増減額 (千円)
一般会計	12,118,000	406,000
国民健康保険特別会計	2,223,613	▲ 625,180
後期高齢者医療特別会計	219,639	▲ 3,678
交通災害共済特別会計	5,349	▲ 120
介護保険特別会計	2,128,980	9,924
老人保健施設特別会計	611,763	18,941
漁業集落排水処理施設特別会計	30,730	510
地方卸売市場特別会計	5,372	1,280
簡易水道事業特別会計	31,938	▲ 4,585



番号	件名	審議結果
議案 第19号	平成29年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算（第2号）案	原案可決
議案 第20号	平成29年度垂水市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）案	原案可決
議案 第21号	平成29年度垂水市水道事業会計補正予算（第2号）案	原案可決
議案 第22号	平成30年度垂水市一般会計予算 案	原案可決
議案 第23号	平成30年度垂水市国民健康保険特別会計予算 案	原案可決
議案 第24号	平成30年度垂水市後期高齢者医療特別会計予算 案	原案可決
議案 第25号	平成30年度垂水市交通災害共済特別会計予算 案	原案可決
議案 第26号	平成30年度垂水市介護保険特別会計予算 案	原案可決
議案 第27号	平成30年度垂水市老人保健施設特別会計予算 案	原案可決
議案 第28号	平成30年度垂水市病院事業会計予算 案	原案可決
議案 第29号	平成30年度垂水市漁業集落排水処理施設特別会計予算 案	原案可決
議案 第30号	平成30年度垂水市地方卸売市場特別会計予算 案	原案可決
議案 第31号	平成30年度垂水市簡易水道事業特別会計予算 案	原案可決
議案 第32号	平成30年度垂水市水道事業会計予算 案	原案可決
議案 第33号	垂水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第34号	垂水市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第35号～第44号	垂水市農業委員会委員の任命について	同意
陳情 第8号	垂水地区グランドゴルフ専用練習場の設置について	趣旨採択

## 平成30年第1回定例会に提案された件名と結果一覧

番号	件名	審議結果
報告 第1号	定住促進住宅に係る家賃等の請求及び明渡しの請求に関する訴えの提起についての専決処分の報告について	
議案 第1号	垂水市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例 案	原案可決
議案 第2号	垂水市ポイ捨て等防止条例 案	原案可決
議案 第3号	垂水市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第4号	垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第5号	垂水市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第6号	垂水市企業等立地促進条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第7号	災害被害者に対する市税減免条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第8号	垂水市民間資金活用集合住宅建設促進条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第9号	垂水市国民健康保険条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第10号	垂水市議会議員及び垂水市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第11号	垂水市議会議員及び垂水市長の選挙における選挙運動用ビラ並びに選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第12号	垂水市介護保険条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第13号	垂水市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第14号	垂水市火災予防条例の一部を改正する条例 案	原案可決
議案 第15号	平成29年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案	原案可決
議案 第16号	平成29年度垂水市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案	原案可決
議案 第17号	平成29年度垂水市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）案	原案可決
議案 第18号	平成29年度垂水市介護保険特別会計補正予算（第3号）案	原案可決

# 新年度ここが変わります！

条例の制定や改正で我が市はどう変わるの。



### 介護保険料は

「値上げ」へ改定

垂水市介護保険条例の一部を改正する条例

平成30年4月から3年間の介護保険料基準額が5,100円から5,700円となり、所得に応じて年間3,600円～12,240円の増額となります。

主な理由として高齢者の人口は増えないと予想していますが、利用費用の内訳のうち介護保険料負担分の割合が国の法律により変更されたことと、利用実績が大きくなっていることです。

### 新たな農業委員

10名決まる

垂水市農業委員会委員の任命について

これまで選挙で選ばれていた農業委員ですが、今回から市長からの任命に変更となり、今年の6月から今回任命された新農業委員10名が中

心となって垂水市の農業施策を協議していくこととなります。（敬称略）

- ◎ 葛迫 巧
- ◎ 永吉 浩幸
- ◎ 瀬角 初美
- ◎ 下瀬 秀
- ◎ 小畑 良之
- ◎ 村山 繁稔
- ◎ 重吉 伸哉
- ◎ 森 千秋
- ◎ 大迫 和昭
- ◎ 中間 信二

### みんなできれいな

垂水市に

垂水市ポイ捨て等防止条例

垂水市、事業者、市民が一体となり、空き缶や吸い殻等のポイ捨てや動物のふんの放置等、市民の身近な行為に絞った形で禁止行為を定め、市民のマナーの向上を図り、本市の環境美化を推進し、快適な生活環境を確保することを目的としています。周知期間を経て本年7月より施行されます。



### 火災被害をなくし、安全な生活

垂水市火災予防条例の一部を改正する条例

消防法に重大な違反のある物販店、飲食店、ホテル、病院、社会福祉施設などについて、その対象物の名称や法令違反の内容等を利用者へ公表することにより、利用者等の防火安全に対する認識を高め、火災被害の軽減を図ります。

公表方法及び公表の内容は、垂水市ホームページに掲載し、違反が認められた対象物の名称、所在地、違反の内容等について公表となります。





川尻 達志 議員

・繰越明許増加の経緯は

問 今年度繰越明許の件数、額ともに多いが議会として予算を認めたとする責任もあるのでは、その経緯について聞か。

答 29年度は、11事業9億円程度の繰越がある。繰越明許については増加しているが災害など予期しない事由、国の予算など歳入確保を行ううえで止むを得ない事業として予算編成したものであり、財政課として関係各課と情報共有を図り適正に事業完了すべく努力していきたい。

・人口減少社会対策と税の公平性は

問 垂水中央病院、コスモス苑の指定管理を肝属郡医師会と結んだが、向こう10年間で本市の人口は激減し、その事に対する議論がされていないとの事である。しかし、医療の高度化、診察機器の高額化が予想される中、対策は一般会計からの繰り出ししかないが、税の公平という観点から問題が多いと考えるが。

答 危惧されるようにこれからの10年間は少子高齢化社会の到来により、

本市のあり方に影響を及ぼしてくるその認識においては同じであるが、人口の減少を抑え、交流人口の増大を図る施策を講じていきたい。

・錦江湾横断道路への活動は

問 錦江湾横断道路の件であるが、水迫前市長が取り上げて以来20年経つが全然動いていない。肝心の鹿児島市の動きが全然無いまま時が過ぎ、今回桜島港が大改修され鹿児島市の動きは不透明な中、市長は本気で動かす用意はあるのか聞く。

答 必要性は大方の方が認めていると思う。鹿児島市の森市長とも色々その話はしているが、森市長の状況もある。申し上げられる事と申し上げられない事もあり、軽々しく発言は出来ない。

・本市における働き方改革について

問 役所の中で仕事量のバラつきがあるようだが、特に企画政策課において仕事量が格段に多いと指摘してきた。この平準化についてどう考えるか、サービス残業等は無いのか。

答 企画政策課をはじめとして庁舎2階が夜遅くまで残業していることは承知している。残業については、残業時間を積み上げているものこの場には持ってきていない。



北方 貞明 議員

・新庁舎位置は、市民の利便性、市街地形成、市民目線で決定を

問 新庁舎整備位置の決定の手順について

答 垂水市庁舎整備基本構想において、市民の利便性や市街地形成への影響等を考慮し、十分な調査と市民目線の評価を行い、決定手順としてパブリックコメント等を参考にし、市の最終意向、意思決定機関で整備位置を決定し、基本計画案を作成し外部委員会である庁舎検討委員会、庁内の検討委員会が審議した後経営会議で最終決定を行う。

問 市政60周年記念事業、記念行事について

答 記念事業として、式典及び市民表彰、記念講演、テレビ公開番組として「なんでも鑑定団」7月22日収録、NHKのど自慢公開番組8月19日中継放送、和太鼓を中心とした和楽エンターテインメント9月公演、市制60周年の年に瀬戸口藤吉翁誕生150周年を迎えることから6月13日にふるさとコンサートに海上自衛隊

東京音楽隊を招き、同日に鹿児島神社(下宮神社)から移転した顕彰碑及び新たに建立したモニュメントの除幕式典において表敬演奏を行う。また、市制60周年関連事業として自衛隊の協力のもと海上自衛隊掃海艦入港及び艦内一般公開が出来ないか依頼している。

問 城山団地の水道事業について、造成開発され、50年になろうとしている。当時埋め立てられ、毎年のように道路陥没、亀裂により水道管の損傷で漏水、断水が年2、3回発生している。バルブ交換、水道管布設を年次計画とのことだったが。

答 垂水市の上水道区域における全体の状況を勘案しながら、平成30年度も特に必要な工事を優先的に行う。特に城山団地の配水管については、平成29年中に漏水作業の際に、バルブ関係の不具合が多く、まずバルブを点検の上、必要に応じて更新等を行い布設替工事を進める。

問 南の拠点の登録正式名称と、愛称について

答 道の駅の登録名称は、現在申請の準備、愛称については、公募による魅力を高め効果的な展開が出来るよう検討する。

産業厚生委員会 リポート

2月21日及び3月2日に産業厚生委員会が開会され、付託された議案について審議され、原案の通り可決しました。審議の際の主な質問と回答について紹介します。

主な質疑

始まるポイ捨て防止対策

垂水市ポイ捨て等防止条例案

問 ポイ捨ては、誰も見ていないときにするはずだが、誰か監視人とかいるのか。

答 これから美化推進委員会をお願いし、その方々にパトロールや指導をしていただく予定である。

問 条例や美化活動についての周知について

答 周知期間を設けて分かりやすいチラシを作成し市民の皆様へ周知し、また、市報にも掲載して周知を図っていききたい。

保存は5年間に

垂水市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例案

問 事業者が保管する記録の年限を国の基準が2年であるのに対し、5年間とした理由は何か。

答 他の公文書の保管、市の例規等、基本的に5年間としており、県や他市の状況も同様に5年間とされているためである。また、実地指導や過誤による再請求の場合に遡って確認を行う可能性があるためである。



介護保険料は上げるべきでは

垂水市介護保険条例の一部を改正する条例案

問 所得段階が基準より低い方の割合が高いが、介護保険の運営のためには、まだ上げるべきだと思いませんか。

答 介護保険料は、介護サービス見込額を被保険者予定数で按分により算定している。そのため、現状より介護サービスの利用が大きく増えることがない限りは、第7期はこの金額で運営できるものと考えている。

なぜ予算が減額に

平成29年度一般会計予算補正予算案

問 臨時福祉給付金が減額されているが、何故なのか。

答 5,500人と見込んでいた対象者が5,065人であったことと、そのうち4,796人が支給決定となったためである。また、申請をされていない市民には、申請を促す案内文書を2回郵送するなどの対応を行った。

一般会計から

繰り出しを

平成29年度垂水市老人保健施設特別会計補正予算案

問 一般会計からの繰出が1,600万円の増額となった理由は何か。

答 収入減による増額ではなく、法律による人件費増に当たる部分の増額であり、当初予算では財源調整を行わなくてはならなかったため、今回の補正となった。



# 総務文教委員会 リポート

2月22日及び3月5日に総務文教委員会が開会され、付託された議案と陳情について審議され、原案の通り可決しました。審議の際の主な質問と回答について紹介します。

## 主な質疑

### 財源は大丈夫か

垂水市企業等立地促進条例の一部を改正する条例案

**問** 限度額が大きく跳ね上がったが、年間の見込み額と財源をどう考えているのか。

**答** 現在、2社から相談があり、見込みとしては、この2社を考えている。財源については、財政課にて考慮していくと考えている。



### 既存の住宅業者の影響はないか

垂水市民間資金活用集合住宅建設促進条例の一部を改正する条例案

**問** 既存の業者と公平性という部分でどう考えるのか。

**答** 今回の議案では考えていないが、他の施策等で、既存住宅についても何らかの支援ができないかということとは全庁的に考えていきたい。

### 違法な施設は公開へ

垂水市火災予防条例の一部を改正する条例案

**問** 消防法令違反のある施設について、公表することだが、公表方法は。

**答** 国がホームページで公表することを示していることから、垂水市においてもホームページにて施設名、所在地、違反内容を公表する。

### 財源は有効に活用を

平成29年度一般会計予算補正予算案

**問** 新庁舎建設関連事業費が減額になったのは何故か。

**答** 計画費の積算が難しく、他市の状況を調査して積算していたが、落札額が低かったことに加え、市からの要望が入っており問題なかったことから減額とした。

**問** 小学校の光熱水費が増額ということだが、LED化による抑制は考えられないか。

**答** LED化による電気代抑制は考えているものの、修繕の度に換えていくのではなく、長寿命化計画を策定したうえでの大規模改造や維持改修を行うことで国からの補助金や交付金の認可を受けやすくなることから計画の中でやっていきたい。

### 医療費の見込み額が少なかった

平成29年度国民健康保険特別会計補正予算案

**問** 保険財政共同安定化事業交付金が1億近く減額となっているが、理由は何か。

**答** 保険財政共同安定化事業は、県内43市町村で協同拠出を行い、医療費リスクを抑えようというものである。

今回の減額については、当初の医療見込額より実績が少なかった事から結果的に減額となった。



### 高齢者が安心して暮らせる施策を



持留 良一 議員

**問** 負担増と給付減の中、高齢者の命とくらしを守る自治体の役割と責任が問われているが、高齢者の施策はどのように検討されたか。

**答** 高齢者の生活実態については、平成28年に無作為に実施した高齢者実態調査結果を見ると、現在の暮らしの状況については、2割近くの方が生活状況が苦しいと感じている。年金受給額は、平成27年度の一人当たり月平均額は国民年金が5万5,157円、厚生年金が14万5,305円である。高齢者福祉政策は、高齢者の多くが現在の住居での生活を希望されていることから、これらを踏まえ、既存サービスの上乗せ、横出しの検討など、総合的に可能な限りの対応をしていきたいと考えている。

### 滞納対策の見直しを

**問** 滞納処分問題で、地方税の滞納処分に対し、全国的に実態を無視し

た強権的な徴収が行われている実態が報告されている。この点について問題を投げかけ、解決の方向を示しているのが、鳥取県児童手当差押さえ高裁判決と、総務省の事務連絡である。これらを踏まえ、預金等の一方的な差し押さえをさせないための徴収行政の在り方が問われている。預金等の一方的な差押えを防ぐための徴収行政の見直し、徴収の手順の作成が必要と考えるが見解を伺う。

**答** 給与の差押え禁止金額及び事業の継続のための差押え禁止財産等については調査の上、差押えから除いているが、預金等については督促状及び催告書発送後、納付及び納税相談がない場合は、滞納金額を差し押さえている。ただし、児童手当・児童扶養手当差押え禁止財産は、鳥取県児童手当差押え違法判決を受け、預金とはいえ、調査の上、その属性が判明した場合は、その金額については除き差押えをとしている。差押え後、生活困窮者については、生活状況等を考慮し、分納計画を作成したうえで金額の一部または全額の返還に依っている。また、係員によって取り扱いが異なることがないように、共通認識のさらなる向上を図るため、他市等を参考に徴収マニュアルの作成に努めていきたい。

### 過大すぎる新庁舎の建設規模市街地再開発を念頭に設計を



村山 芳秀 議員

**問** 平成29年1年間で419人の人口減少。過去最も大きい減少数。新庁舎建設計画では、将来人口を1万4,374人という数字に設定している。来年には下回る数であり、人口設定が庁舎規模の算定に関わる。新庁舎建設は単に場所選定だけでなく、百年の計である。商店街のあり方や中心市街地の活性化策、9つの地域とを結ぶ地域交通計画等も念頭に議論を深めるべき。

**答** 将来人口は上位計画である垂水市人口ビジョンと整合性を図り、職員数、議員数は現有とした。今後、設計段階で市民ニーズを把握しながら必要な機能確保スペースを積み上げていく。

**問** ふるさと納税コールセンターの業務委託については、発足間もない(株)垂水未来創造商社に随意契約で委託している。南の拠点の民間の運営会社でもある。11月の事業開始に向

け、立ち上げ作業が待っている。それより返礼品に関係の深い物産協会を統合した観光協会あるいは商工会等へ業務委託するという考えはなかったのか。

**答** (株)垂水未来創造商社は、地域活性化を目的に設立した会社であること、その他地域商社機能を有していること、地域活性化包括協定を結んでいることなどにより地域経済活動の司令塔の役割を期待していることから随意契約とした。

**問** 南の拠点事業は議員と商工会、垂水市漁協との報告会の中でも中身が不明瞭と言われた。予定敷地内の数筆の土地同意が得られていない状況で全体計画に及ぼす影響は。詳しい雇用計画80人の中身は。市民に全容が明らかになるのはいつか。

**答** 用地取得が困難となった3筆はグランピングエリアと子供広場である。隣接地での再検討と子供広場の設計変更で対応する。80人程度の雇用計画の見直しは、基本構想段階で積み上げた数字。未来創造商社が、テナント募集や開発計画づくりを行っており、計画が出て確認ができる。全体計画は手続き、機密保持の関係から6月には公表したい。

平成30年 第1回定例会

# 総括・一般質問

11議員が登壇!

## 市政を問う

第1回定例会において、11名の議員が平成30年度当初予算に対する総括質疑及び一般質問を行いました。



堀添 國尚 議員

### ・牛根地区の医療体制の充実を早急に

**問** 牛根地区の医療体制についてありますが、平成29年第3回定例会で同じような質問をしております。保健課長の答弁では、垂水市民のニーズが高いこと、牛根地区の病弱な高齢者を守っていくことは、重要な課題として認識している。旧牛根中央クリニックの活用について、牛根地区の医療の充実のため、現在検討を進めているということだったが、あれからもう5ヶ月も経ち、目立った動きが無いように思う。このことは急がなければならぬ問題であると思うが、今後の取り組みについてお尋ねをいたします。

**答** 牛根の医療・介護の問題についてお答えをいたします。医療資源の脆弱な本市にありまして、特に牛根地区における医療の充実を図っていくことは喫緊の課題であるということとを私も以前から認識をして、そのように申し上げてまいりました。旧

牛根クリニックの活用につきましては、これまで、森議員からも質問があり、住民の皆様からも、幾度もなく、ご意見をいただいているところでございます。牛根地区におきましては、医療機関の閉院や診療日の縮小、介護施設の撤退等が続いております。このことに伴う住民の方々の不安はいかばかりかと大変心を痛めているところでございます。私といたしましては、何とかこの対策をいたしたいと考えております。旧牛根中央クリニック跡地の活用については、医師の確保が最大の課題でございます。また、垂水市スーパーバイザーである鹿児島大学副院長の大石充教授にも、事あることにご相談をしておりますが、県内全体的に医師不足でありまして、医師の派遣が現状は厳しいという状況でございます。しかしながら、それでも何とか課題解決に向けた方策はないか検討をいたしております。今後、垂水市全体における医療について、肝属郡医師会垂水班の先生方や垂水中央病院と協議、検討を重ね医療の構築を図りたいと考えています。なお、今年度は牛根分遣所に高規格救急車を配備します。少しでも住民の不安解消につながればと思っております。



池之上 誠 議員

### ・少子高齢化社会垂水中央病院の将来像は

**問** 高齢化率40%を超え、生産年齢人口県内ワースト3の市の現状を踏まえ、経済への挑戦に、地域包括ケアシステムの推進で医療介護福祉の雇用確保、所得向上を図るとあるが、その具体策と展望、また、重点施策の医療体制の充実で核となる垂水中央病院の将来像について伺う。

**答** 地域包括ケアシステムは、高齢者が自立した日常生活ができるように、医療、介護、介護予防、住まいなどの支援を確保する体制で、①地域高齢者の情報収集相談対応②介護予防の推進③在宅医療、介護連携の推進④生活支援体制の整備⑤認知症施策等を柱とした事業展開をしており、総合的に事業の連携を図り包括ケアの体制づくりに取り組む。また、各事業所では、研修学生を受け入れ、拡大を図り定住人口の確保と経済の活性化に寄与したい。中央病院の現状は、国の社会保障費削減

施策の影響で診療報酬が低く抑えられ、看護師、整形外科等専門医師の確保が非常に困難となっております。また、市内唯一の入院機能を持つ医療機関であるが、病床数の適正化もあり厳しい運営状況にある。継続のための将来像は竹中院長が言われた、ある程度の医療は完結できる地域中核的機能（地域完結）と在宅医療を中心にケアセンターと連携した地域包括的医療の推進（地域密着）であり、安心への可能性が展望できることから病院事業の継続を図りたい。

**問** 重点施策の行政改革と人材育成に関し、各公民館主事の女性登用にについて意義・改善点を伺う。

**答** 各地域での公民館活動の重要性が増す中、次代を担う主事の育成や業務改善は重要課題と認識している。働き方改革や男女共同参画並びに女性の活躍推進が提唱される中、社会保険等の福利厚生を充実させることは、業務環境の改善や幅広い人材の任用に繋がるので調査研究を進めている。今後も地区公民館連絡協議会や関係課と協議を行う。

その他の質問事項  
○公約について  
○重点施策について



堀内 貴志 議員

### ・ポイ捨て条例の目的と効果普及の在り方について

**問** 本年7月から施行される「ポイ捨て条例」の目的と効果。推進する上で「環境美化推進モデル地区」の設定、更には「環境美化推進員」を委嘱して市民への普及と効果につなげてはどうか。



毎月開催されている「まるごみたるみず」の活動状況

**答** ポイ捨て条例制定の目的は、空き缶や吸い殻等のポイ捨てや動物のフンの放置等、市民の身近な行為に絞った形で禁止行為を定め、市民等の環境美化やマナーの向上を図り環境美化を推進することである。環境美化重点モデル地区と環境美化推進

員の設置については、本条例の目的と環境保全の推進に有効な手段であるので、今後、法的な整備、活動内容等について検討して前向きに取り組む。

・タブレット等ICT化の推進について

**問** 行政と議会においてタブレットを活用したICT化を進めることで作業の合理化や情報の検索、日常の連絡業務、災害発生時の情報の共有化など、働き方改革にもつながり市政に大きく活用できるシステムだと思いが導入は検討できないか。

**答** タブレット導入については、まだまだ課題もあるが、市民が安心して暮らせる街づくりの推進のためにもICTを積極的に活用したタブレット導入は、会議、窓口等での説明、災害現場の情報共有など市民サービスの向上、更には時間の短縮にもつながり、今後様々な展開が期待できることから、限られた財源の中で効果的な活用等について調査研究していく。また働き方改革にもつながる取り組みなので職員セミナーへの参加と議会及び行政向けのセミナー開催に向けて前向きに取り組む。



川越 信男 議員

・青少年派遣事業「夢の翼」について

問 青少年海外派遣事業「夢の翼」事業を実施しようと考えられた意図や思いについて問う。

答 これまで以上に直接的な体験を通して感動を味あわせ、夢を持たせる授業として海外派遣事業を実施したいと考えている。中学生が海外で見聞きする様々な体験は国際感覚を養うこととなり、将来の夢に向かって積極的に活動する意欲を高め、学力、特に語学力を向上させる契機となる。視野を広げ、幅広い知識を持つことで我が国はもとより、本市の良さを改めて理解することにつながり、郷土垂水を愛する生徒の育成に役立つと考える。将来の垂水を担う優れた人材を育成するために、本事業をしたいと考えている。

・南の拠点の民間エリア開発計画は

問 南の拠点整備予定地は、道の駅エリア、民間エリアの大きく2つの

エリアで構成されており、「老若男女、地域住民、観光客みんなが楽しめる公園をつくる」との整備方針が示されておりますが、民間エリアの開発はどのような流れで行われるのか問う。

答 全ての人が楽しめる公園をつくるための整備方針に基づき施設整備を行い、民間エリアの開発ですが、民間事業者から提案されました土地開発計画の決定後、開発計画に関する協定を締結する予定でございます。

・市長の政治姿勢について

問 早いもので市長の任期も2期目の最終年度となりますが、これまでの振り返りなどなことを感じておられるのか。今後についてどのように考えておられるのか伺います。

答 これからも、市民の皆様としっかりと話し合いをし、連携をしながら、1期目は種をまいたと思っておりますし、2期目はその基礎が構築されつつあるというふうに感じております。3期目に向かって、3期目はしっかりとそのことを成果を残すという意味で、3期目を目指して、垂水市発展のために頑張っていくというふうな考え方をしております。

・6次産業化の推進、取組は



梅木 勇 議員

問 6次産業化については、これまで漁業関係では漁協の取組、漁業関係者も含めた加工販売促進が図られているようです。農業分野では施設や設備への支援が行われているようですが、第2・第3次化の成果検証まで至っていないようである。県では6次産業化サポートセンターが設置され、種々研修等を大隅加工技術センターでも年間を通じてセミナーがあり、このような支援等を案内し、支援サポートを強め地域の活性化に努めていただきたいが、これまでの推進取り組みを伺います。

答 漁業については、養殖業の真空パック加工等が商品化されており、平成28年度から専属人を雇用し、付加価値の高い商品づくりを行う事業を実施している。販路開拓、拡大には県外の物産販売等イベントに参加して販路拡大に努めます。農業では、平成26年度に6次産業化推進事業を策定し、6次化に取り組みやすい環境を整え、これまで

・ごみ対策・補助金の見直しを

ワヤサツマイモの加工等の整備にも活用されている。販路確保には関係機関との連携を図り支援したい。

問 ごみのリサイクル率は平成25年度の56.3%から年々減少しているが、リサイクル率向上の取り組みと今後どのような対策をしていくのか。ごみの減少化対策補助金制度があり、リサイクル品目の古紙類、空き瓶を市民団体が回収し廃品回収業者に売却した場合、補助金があり、学校やスポーツ少年団等が活用しているようです。振興会では年々世帯数が減少し運営費に苦慮するところも出てきている状況があります。回収の古紙類は鹿屋まで運搬して回収業者に売却します。現在の補助単価が適切な額かと思われれます。制度の目的、利用率を高めるためにも増額補助の見直しは出来ないか伺います。

答 リサイクル率向上については、広報誌に分別の掲載、チラシ作成、出前講座等を行ってきたが、今後このような取り組みの強化に努めたい。ごみ減量化対策補助金は団体等の活動資金として大変喜ばれている。補助金の見直しは他の自治体を調査研究し検討してまいりたい。



森 正勝 議員

・市長のこれまでのトップセールスの成果と課題について

問 商工業の振興について、特に水産業の振興については、本市の基幹産業であることから、漁食港整備や施設整備を含め、ソフト・ハード面での支援をしている。また魚離れなどから国内需要が低迷する中、いち早く海外の販路拡大のためトップセールスを行って来た。そこで、これまでのトップセールスの成果と課題についてはどう考えるのか。

答 平成24年8月に、垂水市漁業協同組合からの要請を受け、ベトナム及び香港、9月上旬には、牛根漁協の要請を受け、アメリカを訪問した。実績については、平成24年度の輸出量は2.6トン、350万円であったが、ピークの平成26年度には22.6トン、3,750万円、その後低迷し、平成28年度は7トン、1,000万円と減少している。トップセールスの果たす役割は重要で、一定の成果はあったと考えている。牛

根漁協での実績については、平成24年の輸出量は4,922トン、約32億円、平成28年度5,000トン、約42億円と伸びている。6次産業化を目指した成果が現れたものだと考える。課題としては、味や品質はもちろん、価格においても鋭意努力が必要である。

問 新庁舎建設についてパブリックコメントで3つの候補地以外の新たな場所が提起された場合、どのように対処するのか。

答 パブリックコメント制度は、市の基本政策の素案を事前公表し市民意見の提出を受け、市の考え方を公表する手法で、2月26日現在20件の意見が提出されている。新しい場所の提起はない、提出された全ての意見に市としての考え方を示したいと考えている。

問 浮津集落水道について、一昨年の台風後の復旧と冬場の水源が枯渇する状況についてどうなっているのか。

答 台風16号による災害復旧については完全復旧したと認識している。冬場の水不足に向けた対策については、水道組合長より井戸の掘削またはびわ組合のタンクの再利用により水源確保したいとの要請があり、関係者と協議を行う予定としている。

・農業、漁業の充実を



川畑 三郎 議員

問 今年に入り低温が続く垂水特産のキヌサヤ・インゲン等に大きな被害を与えました。農業振興策として農業従事者の高齢化や後継者不足に対応するため、国は新規就農者の経営安定を図るため、農業次世代人材投資資金を制度化して、新規営農者の支援を行っているが、地域や国の実情によっては基準に合致せず活用出来ない新規就農者に、市単独の支援する救済制度に取り組んでいるがその内容は。

答 平成28年度から市の単独事業で国の農業次世代人材投資資金の要件に合致しない認定新規就農者を対象として、生活支援を目的に月額3万円を最長3年間給付する事業、機械や設備、施設等の導入、改良の為に経費50万円の2分の1を上限として助成事業、防災営農事業導入に国の補助率に10%を上乗せする助成事業、就農時の年齢を55歳未満とします。

問 農産物の害虫対策に天敵の昆虫を使い被害を軽減、害虫対策の農薬

散布の量や日数を減らす、IPM普及の予算化の取組内容について。

答 平成22年度から大隅地域振興局農政普及課が、IPM実証実験を継続、一定の効果が得られたことから本市でも農家5戸にモデル農家として導入しています。インゲンに多く発生する害虫の天敵である虫・ダニをハウス内に放し飼いの害虫の発生を抑制、一定の評価をいただいています。

・防災営農対策について

問 垂水市より新たな事業項目として要望、国の採択要件に組み込まれた被覆資材更新の取組は。

答 被覆資材(ビニール張替)更新に初めて取り組みます。場所については、新城大地区を中心に4戸、インゲンで面積3,120㎡を予定しています。

・水産業振興について

問 種子島周辺漁業対策事業は、国が70%、県が5%、事業主体の漁協が25%の事業負担であります。垂水市としても事業負担は出来ないか。

答 本市としても漁業者の負担を軽減し、水産業振興の充実を図るため、財政状況を注視しながら協議していきたいと考えています。